



# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
発行責任者：北口ひとみ  
つくば市千現1-18-5-101

2012年1月12日  
vol.29

Tel&Fax:029-859-0264 tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

## 「思い」を政治を市民の手でー!

忘れられない、忘れてはいけない年ー2011年。亡くなられた多くの方々のご冥福を心からお祈りいたします。同時に、放射能汚染との長い戦いに立ち向かっていかなければと決意を新たにした年明けになりました。



### つながる・広がる ネットワーク

8年前、政治はごく一部の権力者のもの、近寄りがたい遠いものという思いでした。

しかし、食の安全を求める活動を通して、**政治は生活の一部、市民のためのもの**でなければならぬと実感しました。そして、それを実現するには、市民が政治に市政に無関心であってはならない、**お願い・お任せしてきた態度を改め、直接多くの市民が参加していく仕組みが必要**と考え、有志

で「つくば・市民ネットワーク」を立ち上げました。

これまでに会員や連携してきた人々の数は確実に増え、身近なテーマから取り組みを開始した部会活動も枝葉を広げています。

環境の部会では、市との協働によるレジ袋の削減活動や環境フェスティバルへの参加、ダンボールコンポストの普及に取り組み、昨年末には龍ヶ崎市へ講師として招かれるまでになりました。

福島原発事故以降は、放射能汚染対策へも取り組みました。子ども部会発信で立ち上がった「放射能汚染から子どもを守る@つくば」は、請願活動を通して近隣自治体の団体とも繋がり、県への要望も行いました。

また、「脱原発」へ向け多方面の方々と連携し、要望・請願・抗議パレードなど様々な活動を行っています。

### お任せ政治から参加の政治へ!

今年の秋には市長・市議の選挙があります。**投票は市民が直接政治へ参加する第一歩**です。政治を身近なものにするためにも、如何に多くの市民が投票に参加するかが問われています。つくば・市民ネットでは代理人交代(※)を迎え、新たなステップにチャレンジします。

「政治が悪い」とか「何も変わらない」と言う前に「**私たちができること**」をすることで、**政治を市民のためのものに変えていきましょー!**

## 放射能汚染から子どもを守ろう!

「放射能汚染から子どもを守ろう@つくば」では、原発事故による子ども達への影響を防ぐためにどうしたらいいか、情報交換や勉強会参加を通して話し合ってきました。

そして、学校・公園などの空間線量測定→汚染マップの公表→除染や、食べ物等からの内部被ばくを避けるために給食食材の放射能測定や産地公表を求めてきました。

また、子どもたちの内部被ばくの状況を把握したいと、県に健康影響調査を求める要望書を県内48団体の連名で提出しました。

今後も、安心して子育てするためにできることを探して取り組んでいきます。(ミーティング日程や参加方法は、市民ネットへ。または**放射能汚染から子どもを守ろう@つくば**のブログをご覧ください。)

## 話そう!会

議会の報告、身近な問題について話し合います。どなたでもお気軽にお越し下さい。

- 2月1日(水) 10~12時 つくば市民ネット事務所
- 2月6日(月) 10~12時 並木交流センター
- 2月8日(水) 10~12時 荃崎交流センター
- 2月9日(木) 10~12時 松代交流センター

※この他2/4(土)も開催予定です。詳細は事務所へお問い合わせ下さい。

(1) ※ 代理人交代:市民ネットでは、参加の層を広げ代理人である議員を職業化・特権化しないため、原則2期8年で交代します。

## 一般質問項目

1. 自治基本条例策定
2. 決算と予算編成
3. 地球温暖化対策
4. 関係機関との協定
5. 教育への取り組み

# このままスタート? 春日小中学校

つくば市議会議員 ながい えつこ 永井悦子の議会報告  
総務常任委員会



今年4月、春日小中学校が開校し、県内初の施設一体型小中一貫教育が始まります。これまで行なわれてきた小中連携と何が違うのか、戸惑いの声がある中、関連する小中の校長と教育委員会が構成される開校準備会は「春日学園」という校名や校章の決定、小学校の卒業式と中学校の入学式は無くす、小学5年から着用できる制服など、初の取り組みを次々と公表しました。

### 議論経過を 明らかに

これまでの連携教育と春日小中で行われる一貫教育との違いについて、教育長は「目指すところは変わらないが、小中の距離や学校規模によって到達度や内容

められているのでしょうか。準備会には、なぜ保護者が入っていないのか、春日小中開校に伴い生徒数が10分の1になってしまいう葛城小学校への対応など様々な質問を行いました。

「今年4月、春日小中学校が開校し、県内初の施設一体型小中一貫教育が始まります。これまで行なわれてきた小中連携と何が違うのか、戸惑いの声がある中、関連する小中の校長と教育委員会が構成される開校準備会は「春日学園」という校名や校章の決定、小学校の卒業式と中学校の入学式は無くす、小学5年から着用できる制服など、初の取り組みを次々と公表しました。

開校にあたって「PTA 関連や評議委員会については開校後に保護者と学校で決めていく。開校に先立つ学校説明会は、従来の新入生対象のみで、地域への内覧会は開校後に行なう」との答弁です。しかし、学校名や制服、式典など最も身近な内容を検討している開校準備会が議事録も残さず、議論経過が全く分からないのは非常に問題です。

教育関連の最高意思決定機関は教育委員会、全ての事柄は定例の教育委員会の承認を得て実施されます。しかし、この重要な会議の議論経過は情報公開を求め



なければ分からない状況です。議事録の公表を強く求めたところ、教育長から「今後は情報提示の仕方、会議録等についても心がけたい、出せるものはどんどん出します」との答弁を得ました。

市民ネットでは、一貫教育推進委員会、教育委員会など重要な会議の議事録公開を求めると共に、新入学以外の通学予定者、地域の方々へも説明会を開催するよう教育委員会へ求めています。

### 落ち着いた 教育環境を

現在、教育委員会では、葛城小学校区について、吾妻小、春日小、手代木南小のどの学校にも通学希望が出せるようにしています。そのため、葛城小は事実上独自の学区を持たない状況で、春日小中開校にあたり児童数が激減しました。今後は小規模校の特性を生かしていくとの答弁でした。

春日小中と葛城小の落ち着いた環境づくりを強く要望していきます。

## 市民参加が決め手! 自治基本条例

つくば市が進めている自治基本条例づくり。市が開催してきたワークショップへの参加だけでなく、市民の間でも自治について考え、条例案を提案しようと「自治基本条例を考える市民の会」を立ち上げ、話し合いや学習を重ねてきた。11月にはフォーラムを開催し、市民案を発表。そこで出た意見も加え、12月に市へ意見を提出した。

市民生活に深く関わる市政運営は「市民の意思」を強く反映すべきものだが、現実には難しい。これを解決するため、自治基本条例は「主権者は市民であること」や「積極的な情報提供」など市民参加を重視したしくみや制度、市民・議会・市長の役割を定める必要がある。

条例づくりへの多くの市民の参加こそ、つくば市の市民自治を高めることになる。広く参加を呼びかけていきたい。



# まだまだ不十分 放射能対策

つくば市議会議員 せと ゆみこ  
環境経済常任委員会 瀬戸 裕美子 の議会報告

- 一般質問項目
1. 生涯学習推進  
基本計画
  2. 放射能対策
  3. 障害者福祉

福島第一原子力発電所の事故以来、つくば市では市民の声や意見、請願に引張られるようにして、放射能対策が行われています。対策室を構え、公共施設の空間放射線量の測定と値の公表、給食食材の測定も少しずつ行っています。近隣市町村の首長との連名で国への要望書も提出しました。また昨年末から放射線測定器の貸出しを始めています。

そして今回環境省の「汚染状況重点調査地域」の指定を受けて、除染実施計画を作ることにもなりました。しかし、これらの対策でつくば市の将来を担う子どもたちを守る事ができるのでしょうか。

## 子ども達を被曝から守れるのか

「除染や給食食材の基準値は国の動向を見てから検討」とか、「福島県で行われた状況を見ても健康調査はつくば市では必要ない。放射性物質は食品にも体内

## 氷山の一角？ 生涯学習計画の進め方

幼少期から高齢期までの学びに関する生涯学習基本計画。H18~27の10年計画の前半が終わり、後期計画を策定中です。ところが、その検討を生涯学習審議会に諮ったところ、問題点を指摘されました。①これまでの事業の検証が不足 ②全庁的な共通認識が持たれていないのではないか ③的確なマネジメントの不足などが主なものです。

計画推進の要である生涯学習推進本部会議が一度も開かれていなかったことも今回露呈し、せっかく時間をかけて作られた計画が、力を発揮していなかったのではないかと疑問を持ちました。

これはどの計画についても言えることですが、計画を作ることが目的ではなく計画に沿っていかにより事業を進め、目標点に達するかが大切だと思うのです。

指摘された部分については改善し、計画に沿って事業を実施していく中で、自分の課はどのような働きが求められているのか、他の部署との連携や協働をどのように進めていくか、などをしっかりと把握してほしいと思った一件でした。



にもある。内部被曝が健康にどの程度影響するのか、専門家のより正確な評価によらなければならぬ。」という答弁から、子どもたちの内部被曝について、重視していないと思われる。

**低線量とは言え、常に放射線にさらされている影響は、成長期である子どもほど大きいと言われており、健康障害が何十年もたつてから現れたという報告もあります。過去に確かなデータが無く、その全容はわからないことばかりなのです。健康調査を続けていけば、早期に変化に気づいて手を**

## 当事者を交えて検討を!

今後必要になる様々な検討課題や判断について、農業生産者や保護者の参加が必要と思われる、そういった方々を交えての検討会設置について質問しました。「放

「あのときちやんと調べておけば……。」という後悔はしたくありません。今後健康調査の実施を諦めず、求めていきます。



放射線対策については専門的な知見に基づかなければならない。そのために専門家による懇話会を開きその見解や助言を参考にしている。検討会の設置は考えていない」とのこと。市へのメールや、要望、講演会での質問などを通じて市民の意見を反映させていくという回答でした。しかし放射能との戦いが今後長く続いていくだろうことを考えれば、**当事者である市民を交えて対策を検討していくことが今必要です。** 検討会の設置を引き続き求めていきます。

## 傍聴席から

人生で初めて、市議会の傍聴に行かせていただきました。でも、議場に入るのは、初めてではありません。小学校の時の県庁や市役所の見学以来です。私の中の議場のイメージはその時のまま。立派な椅子に、立派なじゅうたん。選挙で選ばれた立派な議員さんたちの、神聖な場所。子ども心に、身が引き締まったのを覚えています。

初めて議会を傍聴し、議会の決定が「つくば市民」としての私たちの生活に影響し、変化していつていることを強く実感しました。

ただ残念なことに、初めて「やじ」というのも近くで聞かせていただきました。ルールにのっとった一見丁寧な「ことば」と、そこに飛ぶ「やじ」や「笑い」。決して気持ちのよいものではなく、ショックでした。これまた子どもの時の教室の中と一緒。笑いを生むものと、その笑いに同調するものがあるのだと。「一事が万事」。見えない部分のご努力などふっとんでしまうと、市民の一人として感じてしまいました。

つくば市が、「教育日本一」を子どもたちに求めるのであれば、議会も「日本一」を目指していただきたいと強く願います。(T.F)

### つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 10/ 9、23 自治基本条例市民ワークショップ参加
- 10/12、13 決算委員会傍聴
- 10/14 「放射線リスクのとりえ方〜子どもたちへの影響を考える」学習会開催
- 10/15 とりで生活者ネットワーク創立総会出席
- 10/17、31、11/7、18、28、12/7、14、20 自治基本条例市民ワーキングチーム会議傍聴
- 10/22、11/19 龍ヶ崎市ダンボールコンポスト講習会講師
- 10/24、25、11/2、8、10 議員と話そう会開催
- 10/27 つくば市遺伝子組換え作物栽培連絡会出席
- 10/29、30 街頭署名活動(原発国民投票の実施を求める署名、東海第2原発再稼働中止と廃炉を求める署名)
- 11/ 9 環境経済常任委員会(瀬戸)
- 11/12、13 つくば環境フェスティバル2011 出展
- 11/14 議会改革調査特別委員会(永井)
- 11/23 高齢者の暮らしを考える会出席
- 11/27 「みんなで決めよう!自治基本条例」第1回市民フォーラム開催
- 11/30~12/16 12月定例市議会
- 12/ 4 ハッ場ダムをストップさせる茨城の会総会出席
- 12/ 8 つくば市公共交通利用者アンケート調査参加
- 12/11 東海第2原発ハイロパレード in つくば参加
- 12/18 大豆畑トラストつくば収穫祭

※自治基本条例を考える市民の会、放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城の定例会へも参加しています。

※放射線問題関連の学習会へも多数参加。また、テーマごとの部会活動の他、委員会・審議会等へも多数参加しています(詳細はHPをご覧ください)。

## ‘とりで生活者ネットワーク’誕生!

つくば・市民ネットワークと同じ仕組みの下に代理人運動に取り組むグループが、昨年10月、取手に誕生しました!

1月29日には取手市議会議員選挙があります。私たちが待ち望んでいた茨城県内では2つ目のグループになる‘とりで生活者ネットワーク’の初挑戦です。活動へ参加して下さる方を募集しています。是非つくば・市民ネットワーク事務所へお知らせ下さい。

創りだそう!  
市民の声が生きるまち

### 放射線測定器の貸し出しを始めました

つくば・市民ネットワークでは、家の中や庭、子どもの遊び場、通学路、畑など、行政の測定では分からない身近な場所がどの程度放射能汚染されているかを把握したい、という声に答えるため、放射線測定器ホリバP A-1000を購入し、市民ネットワーク向けに貸し出し(1泊2日まで)を始めました。測定結果を提供してもらい、市内の各地域がどの程度汚染しているかを把握して、今後の対策の検討にも生かしたいと考えています。

この機会に市民ネットワークの会員になろうかな?という方は、お気軽にお問い合わせください。



### つくば・市民ネットワーク総会

2月19日(日)13時30分~

つくば国際会議場 会議室304号

### つくば・市民ネットワーク 会員募集中

多くの皆さんの声や参加が解決の原動力です。あなたの参加をお待ちしています。

Tel&Fax 029-859-0264

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

震災から約10ヶ月が過ぎ、以前の生活が戻ると同時に、地震の脅威も放射能汚染も遠い出来事になってきてはいないか? 忘れてはならない。